



◆鳥飼まちづくりランドデザインとは??

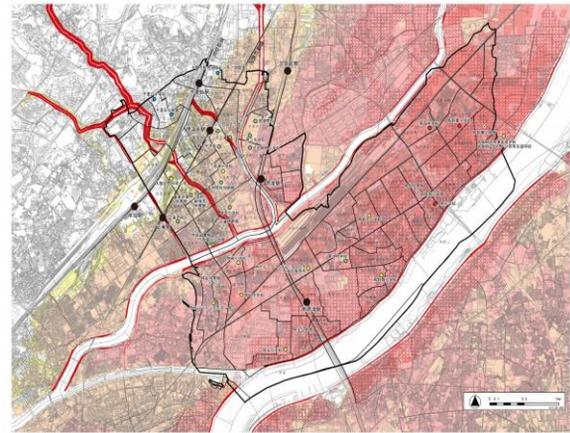
誰もが「安全・安心」に過ごし「にぎわい」と「暮らしやすさ」が調和したまちを目指しています

全国的な傾向と同様に摂津市も、人口減少や少子高齢化の傾向にあり、中でも鳥飼地域は少子高齢化の進展が著しく、市内の他地域と比較すると人口が大きく減少している地域です。鳥飼まちづくりランドデザインは、**水害リスクが高い**という鳥飼地域の地理的特性を踏まえ、住民の生命と身体を守る「危機管理（防災）」の観点から検討を始め、**人口減少と少子高齢化が進行するなかにおいても、鳥飼地域の地域活力を再び呼び起こす**ことを目的として令和4（2022）年7月に策定されました。

◆鳥飼地域の水害リスクは高いの??

鳥飼地域は、1000年に1度の発生確率（1年に発生する確率が0.1%）の想定最大規模の降雨による洪水により、淀川が氾濫した場合、最大浸水深は7mを超え、浸水継続時間も2週間以上となる場所もあります。

鳥飼地域全域が浸水エリアとなるため、住民の皆さんは水害の恐れがある場合は、事前の広域避難を行うことが重要です。



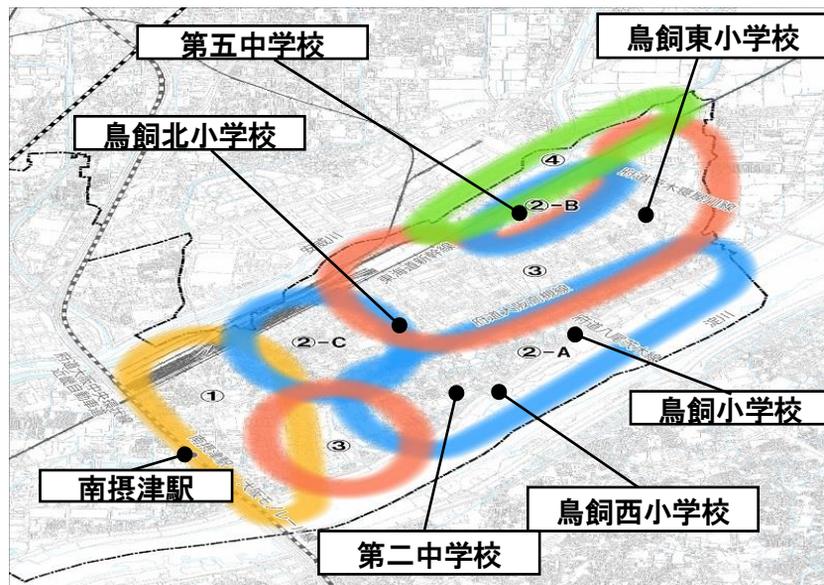
淀川・安威川等重ね合わせ浸水想定区域図
(想定最大規模)

◆鳥飼地域をエリア分けして考えています!

鳥飼地域は、淀川や河川公園、田園・水路、工場・倉庫の事業所群や大阪銘木団地、大阪モノレール南摂津駅など多様な地域資源が点在しているため、鳥飼地域を一体として考えるのではなく、それぞれの特徴を踏まえエリアに分けて考えています。

【各エリアの名称】

- ①人とものが集まる賑わい（核）エリア
- ②居住性向上エリアA
- ②居住性向上エリアB
- ②居住性向上エリアC
- ③企業と住民の共存発展エリア
- ④田園（農業とのふれあい）エリア



第五中学校

鳥飼東小学校

鳥飼北小学校

鳥飼小学校

南摂津駅

第二中学校

鳥飼西小学校

◆鳥飼まちづくりグランドデザインを実現するための進め方

まずは鳥飼まちづくりグランドデザインについて、説明会等を通じて知ってもらい、鳥飼地域の現状や課題、現在考えている将来予想等について共有します。そのうえで、住民等の皆様から様々な意見をいただき、必要に応じて将来予想の修正を行い、その実現に向けた取組の優先順位や役割分担について整理等を行います。

その後、住民や地域活動団体、事業所等の関係者の協力を得られたものから具体的な市の施策や事業スキームを検討し、事業実施に向けて関係者との協働により進めていくことを目指します。



◆これまでの取り組み

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| R4 (2022) 年 7月：説明会開催 (グランドデザイン概要) | R5 (2023) 年 5月：説明会開催 (②Cエリア1回目) |
| R4 (2022) 年 8月：説明会開催 (②Aエリア1回目) | R5 (2023) 年 6月：周知活動 (淀川わいわいガヤガヤ祭) |
| R4 (2022) 年 9月：説明会開催 (②Aエリア2回目) | R5 (2023) 年 6月：説明会開催 (③エリア1回目) |
| R4 (2022) 年10月：説明会開催 (②Aエリア3回目) | R5 (2023) 年 8月：説明会開催 (②Cエリア2回目) |
| R4 (2022) 年10月：周知活動 (せんだん鳥の市) | R5 (2023) 年 9月：ワークショップ開催 (②Aエリア) |
| R4 (2022) 年11月：説明会開催 (②Aエリア4回目) | R5 (2023) 年10月：周知活動 (銘木フェスタ) |
| R5 (2023) 年 1月：周知活動 (防災マルシェ) | |
| R5 (2023) 年 2月：周知活動 (摂津ふれあいマラソン) | |



R4 (2022) 年7月
説明会開催



鳥飼まちづくりグランドデザイン

鳥飼まちづくりクラ YouTube JP-ジ Ver.~

YouTube動画公開



R5 (2023) 年6月
淀川わいわいガヤガヤ祭



R5 (2023) 年9月
ワークショップ開催



R5 (2023) 年10月
銘木フェスタ

【今後の鳥飼まちづくりグランドデザイン関係の予定】

- R5 (2023) 年10月26日：②居住性向上エリアB/④田園 (農業とのふれあい) エリア 説明会
- R5 (2023) 年11月頃：ワークショップ (②A) [予定]





鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップ開催報告

エリア：居住性向上エリアA
テーマ：魅力ある淀川河川敷

開催日時：令和5年9月26日（火）
午後6時30分～午後8時30分
開催場所：新鳥飼公民館
参加者数：15名

今回のワークショップは魅力ある淀川河川敷をテーマに、淀川の活用を考えるワークショップを開催しました。

当日は、20代～70代の15名に参加いただき、外国人の方も3名いらっしゃいました。淀川を活用するには何が重要か？どのようなことをすれば良いか？等、様々な観点から活発な意見が飛び交いました。



参加者の感想（一部抜粋）



今後も、このようなワークショップがあれば積極的に参加させていただきたいと思いました。



行政の方と一緒に活動していけたらいいなと思いました。

若い方々が多く、とても楽しい会でした。



出た意見を集約して優先順位をつけて、行政主導だけでなく民活も含めて検討してはいかがでしょうか。



エリアごとに分けたワークショップは良かった。まちづくりを少しずつ広げるには、もっと多くの方に来てもらえたら良いと思う。

鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップとは？

鳥飼まちづくりグランドデザインを実現していくために、説明会が終わり将来予想がほぼ固まったエリアから、取組の方向性に沿って、これまでいただいた意見を基に、少人数で具体的な取組内容について議論していきます。

ワークショップで議論された具体的で実現可能性の高い取組については、さらに事業化等に向けて議論を深めてまいります。

今回のワークショップの内容は次ページをご覧ください

今回の内容

昨年の説明会でいただいたご意見のうち、淀川河川敷に関連する意見を「淀川の活用」、「スポーツ」、「ライフスタイル」、「教育その他」に分類しました。今回は、「淀川の活用」に関係する意見を対象に、住民の居心地の良い環境づくりの観点からの重要度・難易度について、市の考えを例にワークショップ参加者ととともに整理しました。

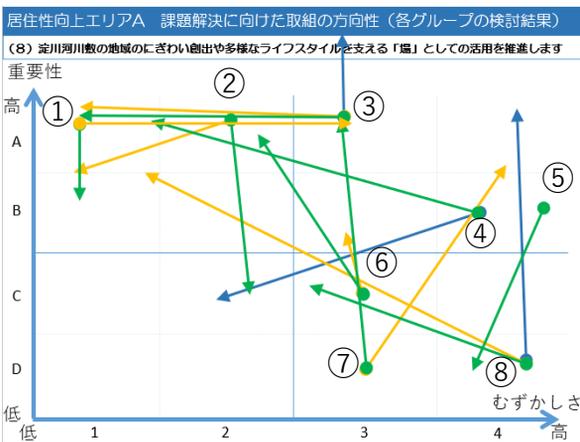
今後は、これ以外のご意見についても同様にワークショップで整理し、居住性向上エリアAにおける、重要ですぐに実施すべき取組について選定していきます。



- ① 淀川を子どもが安心して遊べる場にする
- ② 淀川の水や生き物を学び、体験できる
- ③ 淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする
- ④ 桜並木・遊歩道
- ⑤ 川の駅
- ⑥ 淀川の水源を利用したレジャーやスポーツができる
- ⑦ 淀川の渡し舟を復活
- ⑧ 外来種駆除

居住者にとって居心地の良い環境
(ライフスタイル)を軸に検討

各グループの意見（一部抜粋・集約）



○ワークショップ参加者のご意見（抜粋）

- ・ 淀川河川敷を整備していけば全体的に取り組みが繋がると考えられるので、淀川河川公園の整備は最重要と考える。
- ・ 外来種駆除をイベント等で実施すれば淀川の生態系を学ぶことが出来るが、そのためにも景観の整備が必要。
- ・ 桜は堤防には植えられないので、菜の花などの植物を植える方が難易度も下がりそう。
- ・ 子どもが安心して遊べるためにはトイレの整備等も必要。

※図中の ● → は、元の市の考えた位置 ● からどう動いたかを示しています

各グループの検討結果を踏まえて

今回、市としては居住性向上エリアなので、「住民の居心地の良い環境」を重要事項と考えていましたが、ワークショップでは「地域のにぎわい」の観点からのご意見が多く出ていました。「淀川河川敷（淀川河川公園）の整備」は、重要性が高いとの共通認識となりましたが、外来種駆除等の環境に関する取組も重要というご意見もあり、今回いただいたご意見を踏まえ、さらに居住性向上エリアAにおける具体的な取組内容について、ワークショップ参加者の皆様とともに議論を深めてまいりたいと考えております。

